



年間240万人が訪れる大山町農協の直売所「木の花ガールテン」(大分県日田市)

**問** ごみステーションの資源物の所有権が曖昧で、持ち去り等がある。条例化が必要ではないか。

**答** 今後の検討課題としたい。災害時のごみの発生量は想像以上だ。焼却施設の破損も想定して、松本広域の災害時ごみ処理協定を作るべき。

**問** 災害時のごみ処理は、県が仲介することになっているが、広域連合の協定も提案していきたい。

**◆多重債務者救済業務の充実**

**問** 貸金法改正により上限金利が引き下げられたことで、消費者金融も資金力が低下し、貸し渋りが増えやミ金へ手を出す市民が多くなると思われる。行政による融資制度の先進成功事例があるかどうか。

**◆米価暴落への対応について**

**問** 自治体主導の多重債務者救済融資制度を盛岡市で行っており、大変興味深い。本市の規模では困難と考える。

**答** 米価暴落で市内農家への影響と対策は。米価暴落の背景、原因をどう見るか。

**問** 輸入自由化によるコメ輸入の増加、消費量減少のもと、生産調整の不調で構造的な生産過剰の状況。市農協の入札価格は前年比7〜6%下落している。政府による備蓄米の買い増し、JAの特別対策資金による利子補給などが行われている。国へ安定政策を要望するとともに農家の経営力を高める支援を行っていく。

**◆「後期高齢者」周知方法は**

**問** 後期高齢者医療制度について政府の言う凍結とはどのようなものか。今後の市民への周知はどのように行なっていくのか。

**答** これまで保険料がかかっていた「被用者保険の被扶養者」について2年間均等割り保険料5割軽減を1年目の半年間については無料とし、残り半年は9割減免するとうもののである。周知については、広域連合で保険料が決まってきたので、できる限り具体的な情報を個別に該当者に通知していく。

**◆両小野国保病院経営見直しは**

**問** 両小野国保病院は18年度5千7百万円余の赤字決算と

**◆米価暴落への対応について**

**問** 米価暴落で市内農家への影響と対策は。米価暴落の背景、原因をどう見るか。

**答** 輸入自由化によるコメ輸入の増加、消費量減少のもと、生産調整の不調で構造的な生産過剰の状況。市農協の入札価格は前年比7〜6%下落している。政府による備蓄米の買い増し、JAの特別対策資金による利子補給などが行われている。国へ安定政策を要望するとともに農家の経営力を高める支援を行っていく。

**◆「後期高齢者」周知方法は**

**問** 後期高齢者医療制度について政府の言う凍結とはどのようなものか。今後の市民への周知はどのように行なっていくのか。

**答** これまで保険料がかかっていた「被用者保険の被扶養者」について2年間均等割り保険料5割軽減を1年目の半年間については無料とし、残り半年は9割減免するとうもののである。周知については、広域連合で保険料が決まってきたので、できる限り具体的な情報を個別に該当者に通知していく。

**◆両小野国保病院経営見直しは**

**問** 両小野国保病院は18年度5千7百万円余の赤字決算と

**◆米価暴落への対応について**

**問** 米価暴落で市内農家への影響と対策は。米価暴落の背景、原因をどう見るか。

**答** 輸入自由化によるコメ輸入の増加、消費量減少のもと、生産調整の不調で構造的な生産過剰の状況。市農協の入札価格は前年比7〜6%下落している。政府による備蓄米の買い増し、JAの特別対策資金による利子補給などが行われている。国へ安定政策を要望するとともに農家の経営力を高める支援を行っていく。

**◆「後期高齢者」周知方法は**

**問** 後期高齢者医療制度について政府の言う凍結とはどのようなものか。今後の市民への周知はどのように行なっていくのか。

**答** これまで保険料がかかっていた「被用者保険の被扶養者」について2年間均等割り保険料5割軽減を1年目の半年間については無料とし、残り半年は9割減免するとうもののである。周知については、広域連合で保険料が決まってきたので、できる限り具体的な情報を個別に該当者に通知していく。

**◆両小野国保病院経営見直しは**

**問** 両小野国保病院は18年度5千7百万円余の赤字決算と

**日本共産党**

質問者 鈴木 明子  
柴田 博

質問時間45分



経営が悪化している両小野国保病院

**◆「健全育成」対策は幅広く**

**問** 青少年健全育成にかかわり、有害自販機以外の全国的調査は行われているか。ネット、携帯電話等への健全育成上の対応策や「青少年が利用活動できる施設」の設置状況調査等の情報交換が必要では。

**答** 「自販機」以外の一斉調査は行われていない。「有害自販機」規制条例化を契機に市民の関心を高めて行きたい。

なった。必要な医師数が満たされていない事態とも聞くが。

**答** 入院、外来の減少と診療報酬引き下げ、医師休職などにより、昨年を上回る赤字の見込み。住民、地元議員による経営研究委員会で意見集約を行っている。4月には新しい方向で進めていきたい。



市民からの申請により、手話通訳や要約筆記通訳による傍聴もできます。



議場の傍聴席だけでなく、市役所1階市民ホールでテレビ画面による生中継を行っています。

## 議会公開の取り組み

塩尻市議会では、「市民に開かれた議会」を目指し、様々な形で活動を公開しています。